

対面授業と感染症拡大防止対策を両立させるための本学の取組み

2021年5月12日

獨協大学

春学期の授業が4月12日に対面を基本として始まってからおよそ1カ月が経過しました。本学はできる限り、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染防止対策を取りながら対面授業との両立を目指しています。本学の感染拡大防止対策の取組みを紹介します。

1. 春学期授業開始に向けての環境整備

本学が春学期授業開始日をターゲットに実施した主な取組みは次の通りです。

(1) 感染性防止対策検討部会の立ち上げ

2020年11月に「2021年度の対面授業再開のための感染症防止対策検討部会」を立ち上げました。

(2) 感染リスクの洗い出し

全ての部課室とその所轄施設の感染リスクを洗い出し、対策を講じました。

(3) 学内施設の定員を50%に設定

学内施設（図書館、学生食堂、雄飛ホールなど）の席数を定員の50%を目処に設定しました。

(4) 換気能力の確認

本学の教室棟は築年数が新しいこともあり、ほとんどの教室が建築基準法で定められた換気能力を備えています。空気感染のリスクを抑制するために、循環式空気除菌装置50台を学内に配置しました。

(5) 学内ネットワークの増強

学内ネットワークの増強に取り組むとともに、無線LANにアクセス可能な施設を増やしました。

(6) PCを利用できる自習スペースの整備

学内ネットワークにアクセスして学習できる自習スペースを計556席用意しました。うち163席は発話可能な席で、語学（会話）などの授業に利用できます。

2. 感染症拡大防止対策の実施

感染症拡大防止には、公衆衛生の基本を継続することが何にも増して重要です。学生の行動変容を促すための啓発活動を展開しています。

(1) 基本的な感染症防止対策の徹底

- ① 本学の感染症防止対策は、3密（密閉・密集・密接）回避、マスクの正しい着用、正しい手指消毒、人と人の距離の確保、十分な換気、感染リスクが高い行動の回避で構成されています。
- ② 飛沫感染を防ぐために、学生食堂、学生センター、教室棟のラウンジ、雄飛ホールなどのテーブルにアクリル板を設置しました。
- ③ 学生に対して、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が公表した「感染リスクが高まる『5つの場面』の回避」を遵守することを、学外活動、学友会活動（クラブ・サークル）、学生寮を含めて周知徹底しています。

(2) 学生の行動変容を促すための啓発活動

- ① 本学の感染症拡大防止対策を網羅した冊子『感染症防止の道標～一人ひとりの行動が未来を紡ぐ～』を4月1日に学生と教職員に公開
「新型コロナ感染症防止対策を取りまとめた冊子を作成しました」
<https://www.dokkyo.ac.jp/information/2021/20210401004357.html>
- ② 本学オリジナル感染症防止啓発ポスターの制作
「新型コロナウイルス感染症予防啓発ポスターをリニューアル」
<https://www.dokkyo.ac.jp/information/2021/20210414004428.html>

③ 教員による学生への注意喚起

④ スタッフによる学内巡回

⑤ 感染症防止啓発動画の制作

(3) 体温測定赤外線カメラの配置

学内に体温測定赤外線カメラを10台配置することにより、入構時に加えて教室棟等でも体調を確認できる体制を整えました。

(4) 学生への情報提供

- ① 大学のポータルサイトである PorTa II を通じて、感染症関係の情報を一人ひとりの学生に確実に届けています。
- ② 学生センター1階に、埼玉県と草加市の感染状況、埼玉県が公表している関連統計、本学関係者の感染者数などを掲示しています。

3. 学生数などのモニタリングの実施

春学期授業開始後、学生入構者数と主要施設の利用者数を毎日集計しています。データを関連部署で共有し、対面授業と感染症拡大防止対策の両立に活用しています。

(1)入構学生数および主要施設利用者数の把握

入構学生数と学生食堂の利用者数などを、専用 PC の IC カードリーダーに学生証をかざしたもらうことにより、毎日集計しています。図書館については、入館時に学生証をタッチするシステムを昨年更新しました。

本学は 4 月 26 日に学内への入構者数を調整して「密」を避けるための措置を公表しました。その検討に際して、収集したデータを活用しました。学生食堂の提供食数やメニュー追加の判断にも利用しています。

(2)目視による状況把握

- ①すべての教室の利用状況を職員が目視で確認
- ②学食にスタッフを配置して見回り強化

(3)学内ネットワークの利用状況を常時モニタリング

(4)自習スペースにおける学生の利用状況を毎日確認

4. 陽性者と濃厚接触者がいることが判明した場合の対応

本学では、感染者や濃厚接触者がいることが判明した場合に迅速に対応できる体制を整えています。

(1)感染情報の迅速な把握

感染拡大を防ぐには、感染者や濃厚接触者からの迅速な情報提供が欠かせません。感染者と濃厚接触者が必要事項を記入した「感染症入力フォーム」を本学の保健センターに送信するシステムが稼働しています。加えて、「出校可否フローチャート」にアクセスすると、自分がとるべき行動を確認することができます。

(2)対策の立案と実施

感染症入力フォームで送られてきた情報や保健センターによる聞き取り、そして草加保健所からの指示などを踏まえ、感染者や濃厚接触者がいることが判明した場合の対策を立案・実施しています。

(3)PCR 検査の実施

感染拡大防止対策として、感染者や濃厚接触者との授業、課外活動での関わりから判断し、

濃厚接触者にあたらない場合であっても、PCR 検査を限定的に実施しています。費用は大学が負担しています。

5. 個人情報の取り扱いと人権への配慮

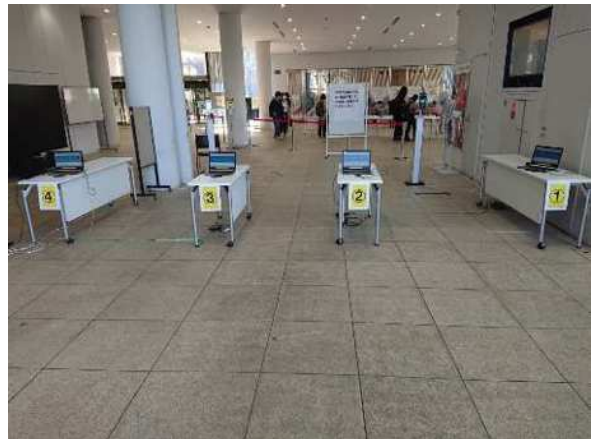
本学における新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした個人情報の取り扱いについては、『感染症防止の道標』や『獨協大学ニュース』（2021年5月号）を通じて学生に伝えています。また、感染者や濃厚接触者の人権を尊重することを、学生と教職員に繰り返し呼びかけています。

2021 年度春学期 目で見る獨協大学新型コロナウイルス感染防止対策

■学内入構から教室棟まで



各門で警備員に学生証を提示



学生センター1階で入構を記録、検温、消毒



学生証をリーダーで読み取り入構を記録



サーマルカメラで検温



手指の消毒



大型モニターを利用した注意喚起



本学オリジナル学内統一の注意喚起ポスター

■図書館の利用



ソーシャルディスタンスを促す
ステップのサイン



学生証を読み取り入館



図書館の本の貸出窓口

(このほか、非接触型の貸出機も以前から
設置しており、資料貸出に対応)



定期的な消毒

■学生食堂の利用



学生食堂での見回り
マスク着用での会話や黙食などを呼びかけ



テーブルに飛沫対応のパーティションを設置
(獨協大学父母の会から寄贈)

■キャリアセンター



入室前に手指消毒



キャリアセンターの就職相談窓口



キャリアセンター内に WEB 面接用の個室ブースを設置

■学生の自習スペース

※対面と遠隔のハイブリッドで授業を行っている 2021 年度は、キャンパス内でも遠隔授業を受講できるように自習スペースを各所に設置。学生が学びやすい環境を整備しています。



スペースごとにできることをサインで示し、学生に周知

(左:グループワークが可能なスペース、中央:発話授業可能なスペース、右:発話授業禁止のスペース)



西棟2階



西棟3階 発話 OK の PC 設置スペース



東棟1階ホール



東棟2階



天野貞祐記念館2階



中央棟 自律学習スペース CLEAS



中央棟 自律学習スペース CLEAS

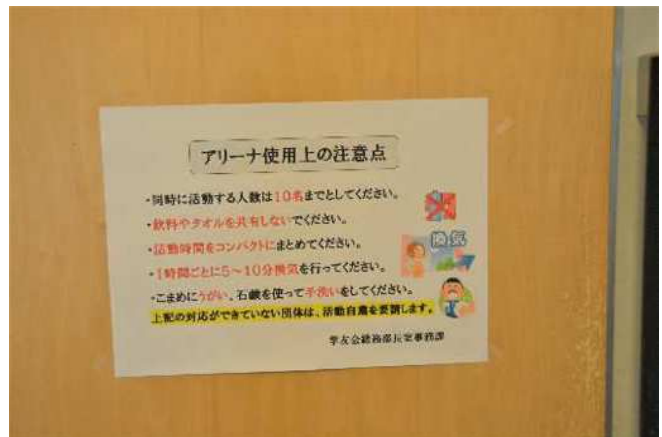
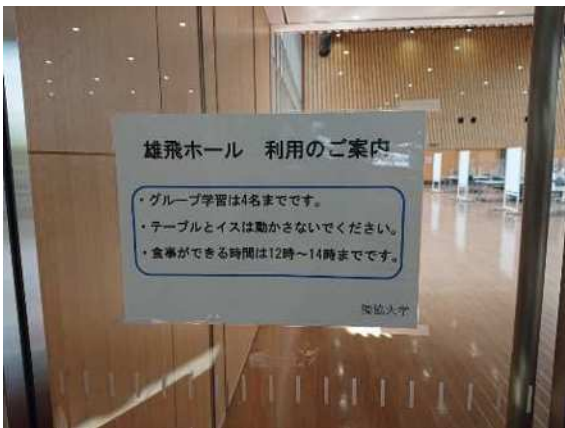
■学内各施設での感染症拡大防止への取組み



教員用控室に空気清浄機を設置
(獨協大学父母の会から寄贈)



対面の椅子には着席禁止の掲示



利用人数を制限するなどの掲示(左:雄飛ホールでの自習、右:アリーナでの学友会活動)



給水機は使用不可